Creative Enzymes®

E. coli 由来のバイオチン化ルシフェラーゼ、再組換え

Cat. No. NATE-1254

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ルシフェラーゼは、Mg2+-ATPおよび酸素の存在下でルシフェリンから光を生成する反□を触媒する酵素です。この酵素がルシフェリン、ATP、およびO2と反□することで光が放出されます。ルシフェラーゼの活性は、イソフルランやケタミン/メデトミジンを含む全身麻□□によって抑制される可能性があり、これにより生物発光イメージングの感度に影響を与えます。
別名	フォティナス・ルシフェリン 4-モノオキシゲナーゼ (ATP加水分解); ホタルルシフェラーゼ; ルシフェラーゼ (ホタルルシフェリン); フォティナス ルシフェリン 4-モノオキシゲナーゼ (アデノシン三リン酸加水分解); ホタルルシフェリン ルシフェラーゼ; フォティナス・ピラリス ルシフェラーゼ; EC 1.13.12.7; 61970-00-1

製品情報

種	E. coli
由来	E. coli
外□	液体の形態
***EC*番号**	EC 1.13.12.7
分子量	ca. 70 kDa
活性	> 1.0 x 10^10 相□光単位 (RLU)/ml 特異的活性: 1.9 x 10^11 RLU/mg 精製タンパク質
***pH*安定性**	5.5–9.0
最適pH	7.5–8.5
熱安定性	約45°C以下
ミカエリス定数	1.7 x 10^-4 M (ATP) 1.3 x 10^-4 M (D-ルシフェリン)
構造	約70 kDaのモノマー（SDS-PAGE）
単位定義	1相□光単位（RLU）は、30°CおよびpH 7.8で20秒間に1カウントの光を放出する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで
安定性	25°Cで少なくとも1週間安定（液体形態）